

# 戦評

新人大会 県予選会 男子 決勝リーグ

平成25年1月20日(日)

会場：上尾運動公園体育館

Aコート 第2試合

対戦

	—		
	16	—	22
西武文理 高校	9	—	24
<b>48</b>	4	—	<b>27</b>
	19		18

第1P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスではじまる。正智は、序盤から早い展開からの攻めを見せる中、#6のドライブ・#8の3Pで得点を重ねる。対する文理は、#8のハイポストからのジャンプショット・ゴール下などで応戦。やや正智がペースを掴みかけ6点リードで1Pを終える。

第2P、正智の執拗なマンツーマンディフェンスに対して文理は、#8・#9のジャンプシュートによる単調な攻撃が目立ち始める。対する正智は、徹底して早い仕掛けからのシュートで得点を重ねる。さらに、オフェンスリバウンドにも積極的に参加、#9の2P、#8の3Pなどで一気に点差を広げにかかる。文理は、オフェンスのリズムがなかなか戻らず、加えて正智にリバウンドを支配されるかたちとなり、正智が完全にペースをつかみ、21点差をつけ前半を折り返す。

第3P、両チームハーフコートマンツーマンディフェンス。文理はメンバーを一新しペースを変えにかかる。一方の正智もメンバーを交代しながら、前半同様、早い展開を終始徹底する。文理はややミスが目立ち、自分たちのリズムに持ち込むことができない。点差も徐々に広がる。

第4P、粘り強くハーフコートのマンツーマンディフェンスを続け、文理も反撃を試みるものの及ばず。最後まで相手に主導権を握らせず、リバウンドで相手を圧倒した正智が大差で文理を退け、決勝リーグの2勝目をあげた。

(記録者：川越東高校 長原 康)